

2023年4月27日
日本船主協会

日・バングラデシュ首脳会談の結果を受けた当協会池田会長コメント

4月26日に東京で開催されました日・バングラデシュ首脳会談の結果*を受けた、当協会池田会長談話は次の通りです。

4月26日に開催された日本・バングラデシュ首脳会談において、岸田内閣総理大臣よりバングラデシュハシナ首相に対し、香港条約へ最も早い機会に加入することへの期待が表明され、これに対し、同首相より2023年中の批准の意向が示されたことを心より歓迎する。また、岸田総理より、バングラデシュが必要とするTSDF（廃棄物処理施設）整備等の支援に前向きな姿勢が示されるとともに、同日、国土交通省とバングラデシュ工業省間で締結された覚書において、当局間で首脳会談の結果を補強する明確な確認が行われたことも併せ歓迎したい。これらについての政府関係者のご努力に深く感謝する。当協会は今回の首脳会談が、バングラデシュが予てより表明している本年の香港条約批准を力強く後押しするものと確信しており、同国の一刻も早い批准とそれによる香港条約の早期発効を強く期待するものである。

海運業界は将来的なGHGネットゼロに向け、現在総力を挙げて代替燃料船などの環境性能の高い船舶へのシフトを加速させているところ、そのためには老朽船の適時適切な市場退出が不可欠である。後者の実現のためには、香港条約の早期発効を通じ、既に批准済のインドに加え、世界最大の解撤実績を有するバングラデシュを含む複数国において、環境適合型ヤードの能力が拡充されることが急務であり、日本・バングラデシュ両国においては本会談を契機として、一層の取り組みをお願いしたい。

当協会は2022年4月に齊藤鉄夫国土交通大臣にバングラデシュの香港条約批准に向けた環境整備への日本政府の支援を要請しており、そのご配慮に改めて厚く感謝申し上げます。当協会は引き続き、同国での香港条約認証ヤードでの優先的解撤を協会内外の船主に働きかけていく。なお、来月にはバングラデシュに当協会友田副会長を団長とする官民合同の訪問団を派遣し、現地ヤードの視察を行うとともに現地官民の関係者の環境適合型解撤ヤード整備及び香港条約批准への動機付け向上を図る予定としている。

※外務省発表：https://www.mofa.go.jp/mofaj/sa/sw/bd/page4_005852.html

国土交通省発表：<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001603634.pdf>